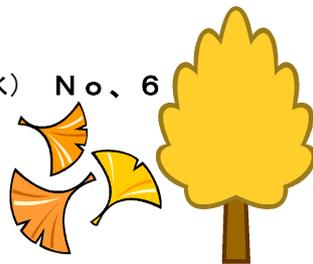


# 中原通信



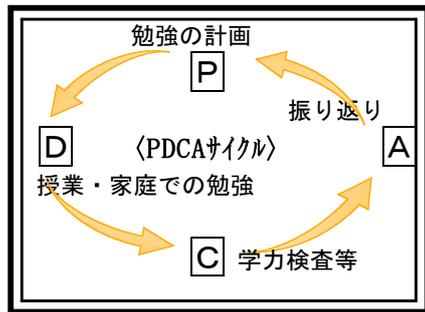
文責 増永 善久



## 後期のスタート

短い秋休みを終え、10月16日(火)から後期がスタートしました。16日はきよら祭りがあるため、午前中授業でした。きよら祭りでは、日差しが強い中、「中原楽」の披露を頑張る児童の姿が見られました。後期には、一大行事である150周年記念式典があります。記念式典に向けた準備も着々と進んでいます。

前期の終業式と後期の始業式で発表してくれた児童の感想を紹介します。前期の感想としては、「考えを広めることができた」「苦手な教科が分かるようになってうれしかった」「上級生として下級生を引っ張ることができた」などがありました。後期に頑張りたいこととしては、「算数を頑張りたい」「体育の器械運動を頑張りたい」「低学年の手本になりたい」などがあり、特に「後期は勉強を頑張りたい」が多くありました。私としても勉強を頑張りたいと思います。子どもたちに勉強を頑張りたい理由の一つは、勉強して身につけた考え方や知識、技能が多ければ多いほど、自分の可能性が広がると思うからです。将来、「どのように生きるか」、変化のはげしい今の時代だからこそ、しっかり勉強して、考え方を身につけ、知識や技能を増やし、自分で進む道を見つけだすその時のために、自分の可能性をできるだけ広げてほしいと思います。また、勉強をする上で、よく言われるのが「PDCAサイクル」です。PDCAとは、P=Plan(計画)・D=Do(実行)・C=Check(評価)・A=Action(改善)のことです。この4つの段階を繰り返すこと(PDCAサイクル)で、仕事の内容や質を改善しようとする経営方法のことです。これを6年生が受けた全国学力調査に当てはめてみると、「P=自分で日々の勉強を計画する」、「D=授業と家庭での勉強に取り組む」、「C=学力調査」、「A=学力調査の結果を振り返る」になると思います。学校でも、全国学力調査の結果をうけ、現在は、A(振り返り)・P(次の計画に取り組む)の段階を実施しており、PDCAサイクルを活用しています。



## 子どもたちの活動から

### ◎木育

前期のおわりに、「木とふれあい、木で何かをつくることを通して、木と環境や木の文化を考えていくこと」などを目的に、地元の小国杉をつかった木育の授業が、1年生と3年生で実施されました。(株)Forequeさんのご指導のもと、1年生は、小国杉で写真立てを作り、自分で描いた絵を飾りました。3年生は、小国杉でモルックという競技のスキットルを作り、実際にモルックをやって楽しみました。次は、4年生で木育の授業が実施されます。



1年生の作品



モルック

### ◎「収穫の秋」

秋は、「紅葉の秋」といいますが、今年は猛暑のせいか、やっと校庭のいちょうが色づき始め、すごしやすい季節となりました。また、「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など、さまざまな「○○の秋」があります。その一つに「収穫の秋」があります。10月25日(金)には学校裏の畑で、サツマイモの収穫をおこないました。子どもたちは、泥にまみれながら、ひたむきにサツマイモを掘っていました。大小ありましたが、たくさん収穫できました。



## いよいよ150周年記念式典(ぎんなん祭)です

いよいよ11月2日(土)に150周年記念式典(ぎんなん祭)行われます。お配りしたパンフレットに記載しておりますが、当日の開会は9:00になります。午前中は、記念講演や児童発表です。児童発表は10:15~を予定しています。午後の部は12:00~で、お笑いステージ、県警音楽隊の演奏などがあります。子どもたちは、「大好き中原」のテーマのもと、一人一人がよりよい発表にしようと練習に取り組んでいます。150周年を児童・保護者・地域の方々と一緒にお祝いできることに感謝しています。



リハーサルの様子

※150周年記念式典の準備、当日の役割など、実行委員の皆さまや保護者の皆さまには大変お世話になります。よろしくお祈りいたします。